決算情報　2026年3月期中間連結会計期間

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）	当中間連結会計期間	前連結会計年度
流動資産	185,380	192,767
固定資産	141,693	147,703
❶ 資産合計	327,073	340,471
流動負債	65,004	69,989
固定負債	22,152	24,355
❷ 負債合計	87,156	94,345
❸ 純資産合計	239,916	246,126
負債純資産合計	327,073	340,471

中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書（要約）

（単位：百万円）	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
❹ 売上高	154,752	158,476
売上総利益	40,654	41,169
販売費及び一般管理費	27,886	27,482
❺ 営業利益	12,767	13,687
経常利益	12,487	14,266
税金等調整前中間純利益	12,686	14,550
❻ 親会社株主に帰属する中間純利益	8,928	10,814
中間包括利益	2,265	21,654

■ ポイント！

❶ 資産合計
「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加がありましたが、「現金及び預金」や「のれん」の減少などにより、総資産は133億98百万円減少しました。

❷ 負債合計
「未払法人税等」や「流動負債その他」の減少などにより、負債は71億88百万円減少しました。

❸ 純資産合計
「利益剰余金」の増加がありましたが、「自己株式」や「為替換算調整勘定」の減少などにより、純資産は62億9百万円減少しました。

❹ 売上高
半導体・電子部品関連製品が引き続き堅調に推移したものの、韓国・台湾子会社の閉鎖や為替などの影響により、売上高は37億24百万円減少しました。

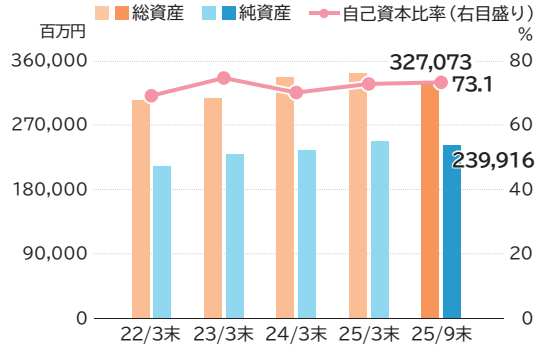
❺ 営業利益
原燃料価格の上昇や人件費を含む固定費の増加に加え、為替影響などにより、営業利益は9億19百万円減少しました。

❻ 親会社株主に帰属する中間純利益
営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は18億86百万円減少しました。

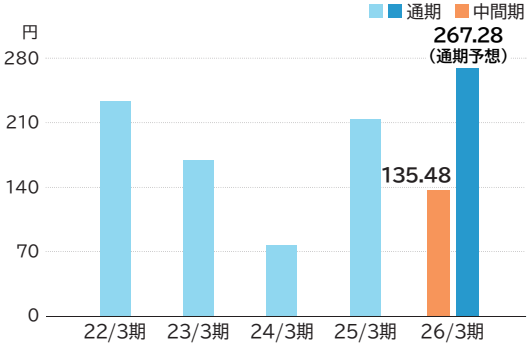
中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）	当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	13,608	11,932
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,719	△11,759
財務活動による キャッシュ・フロー	△10,948	△5,564
現金及び現金同等物の 中間期末残高	46,724	49,178

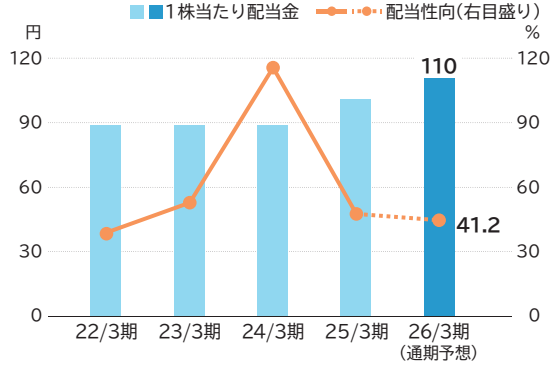
総資産・純資産・自己資本比率



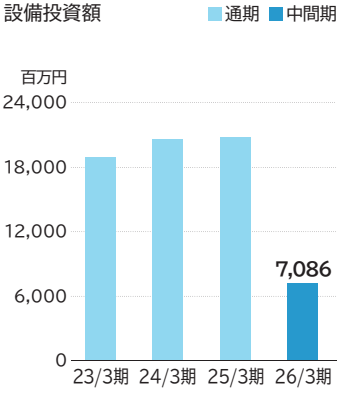
１株当たり中間（当期）純利益



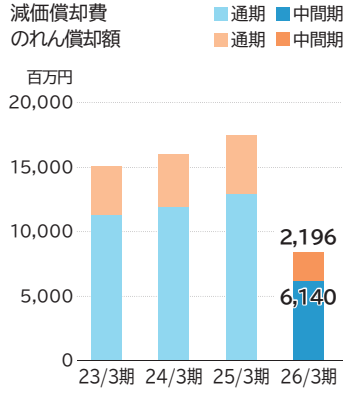
１株当たり配当金・配当性向



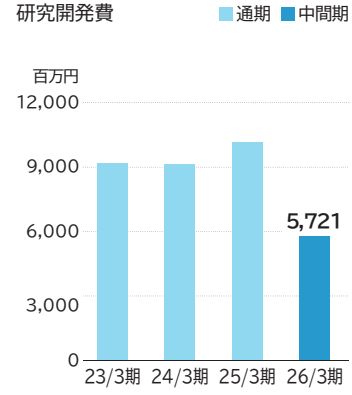
設備投資額



減価償却費
のれん償却額



研究開発費

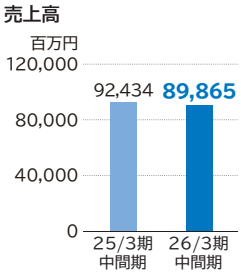


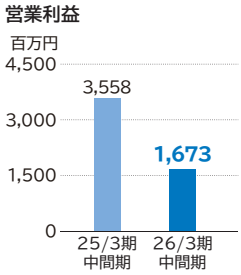
セグメント情報 2026年3月期中間連結会計期間

印刷材・産業工材関連（前年同期比）

売上高　898億65百万円　（2.8%減）

営業利益　16億73百万円（53.0%減）





印刷情報材事業部門（前年同期比）

売上高 713億24百万円（3.0%減）



主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

産業工材事業部門（前年同期比）

売上高 185億41百万円（1.9%減）



主要製品

- 自動車用粘着製品
- ラベリングマシン
- 屋外看板・広告用フィルム
- 工業用粘着テープ
- ウインドーフィルム
- 内装用化粧フィルム

事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

■印刷情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では医薬および物流用で前年同期並みに推移しましたが、食品関連やアイキャッチ用並びに飲料キャンペーン用などは低調に推移しました。海外では米国で販売数量は増加したものの売上構成および為替などの影響により減少したほか、中国やアセアン地域でも低調に推移しました。

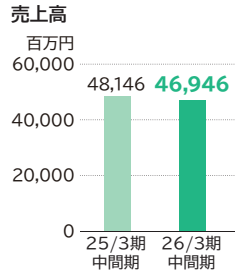
■産業工材事業部門は国内では防犯用・日射調整用ウインドーフィルムが増加したほか、自動車用粘着製品も堅調に推移しました。海外では米国で防犯用ウインドーフィルムの需要が低迷したほか、アセアン地域で自動車用粘着製品が減少しました。

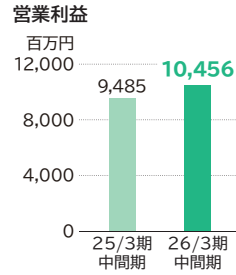
■セグメント営業利益は米国での売上高減少や国内および米国で固定費が増加した影響などにより、前年同期に比べ減少しました。

電子・光学関連（前年同期比）

売上高　469億46百万円　（2.5%減）

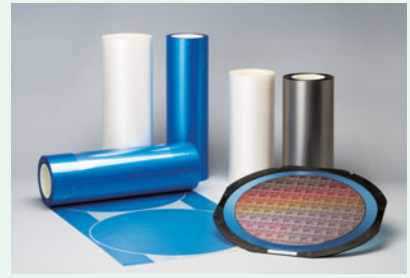
営業利益　104億56百万円　（10.2%増）





アドバンストマテリアルズ事業部門（前年同期比）

売上高 426億75百万円（2.4%増）



主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

オプティカル材事業部門（前年同期比）

売上高 42億71百万円（34.2%減）



主要製品

- 光学ディスプレイ関連粘着製品

事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

■アドバンストマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープが生成AI関連の需要増加などにより堅調に推移しましたが、半導体関連装置についてはHBM製造用の受注が一巡したことで減少しました。積層セラミックコンデンサ関連テープはデータセンターやスマートフォン向けなどのハイエンド用の需要増加により堅調に推移しました。

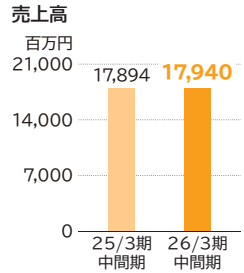
■オプティカル材事業部門はOLEDディスプレイ用粘着テープが堅調だったものの、韓国・台湾子会社の閉鎖の影響もあり売上高は減少しました。

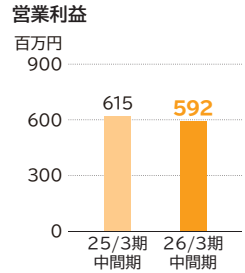
■セグメント営業利益は増産体制強化のために導入した新設備の減価償却費や人件費などの固定費は増加しましたが、半導体・電子部品関連製品の販売数量の増加により、前年同期に比べ増加しました。

洋紙・加工材関連（前年同期比）

売上高　179億40百万円（0.3%増）

営業利益　5億92百万円（3.7%減）





洋紙事業部門（前年同期比）

売上高 73億57百万円（3.0%減）



主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙

加工材事業部門（前年同期比）

売上高 105億82百万円（2.6%増）



主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

■洋紙事業部門は工業用特殊紙が堅調に推移したものの、主力のカラー封筒用紙や耐油耐水紙は需要減少により低調に推移しました。

■加工材事業部門は合成皮革用工程紙が減少したものの、粘着製品用剥離紙、炭素繊維複合材料用工程紙、光学関連製品用剥離フィルムが需要増加により好調に推移しました。

■セグメント営業利益は加工材事業で増販効果があったものの人件費などの固定費増加をカバーするに至らず、前年同期に比べ減少しました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

株式情報（2025年9月30日現在）

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 （ただし自己株式を除く）	65,481,691株
単元株式数	100株
株主数	8,409人

IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。

スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

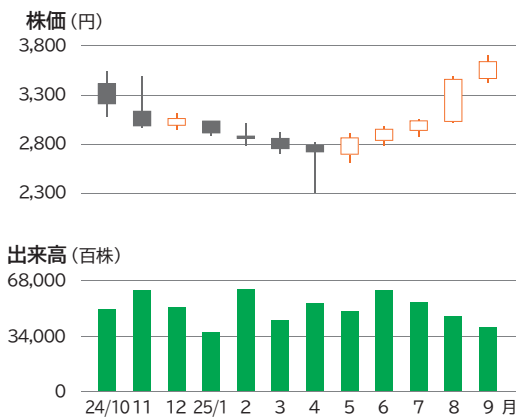
www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

大株主の状況（上位10位）

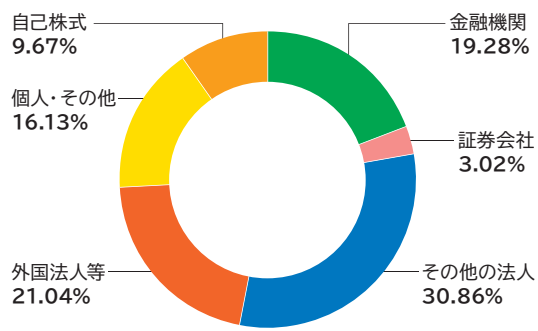
株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本製紙株式会社	19,659	30.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6,072	9.27
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	4,373	6.67
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,380	2.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,377	2.10
庄司 たみ江	1,296	1.98
リンテック従業員持株会	1,242	1.89
株式会社日本カストディ銀行（信託口4）	1,093	1.67
塩飽 恵以子	963	1.47
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	921	1.40

注1. 当社は自己株式7,007,049株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。
注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移（2024年10月～2025年9月）



所有者別分布比率



会社概要（2025年9月30日現在）

社名	リンテック株式会社（英文：LINTEC Corporation）
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結：5,311人　単体：2,629人（2025年3月31日現在）
事業所	営業拠点：東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点：吾妻（群馬県）、熊谷・伊奈（埼玉県）、千葉（千葉県）、龍野（兵庫県）、小松島（徳島県）、三島・土居（愛媛県） 研究拠点：蕨・さいたま（埼玉県）
連結子会社	国内：3社　海外：37社（2025年3月31日現在）

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末：3月31日　中間：9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html

リンテック株式会社　Linking your dreams

● 本社　〒173-0001　東京都板橋区本町23-23
URL　www.lintec.co.jp

発行　広報・IR室　　2025年12月
TEL.（03）5248-7741
FAX.（03）5248-7754

社名の由来は、リンケージ（結合）とテクノロジー（技術）。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE（結合）・LOYALTY（誠実）の三つの「L」で表現したウエーブ（波）を組み合わせてデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

UD FONT　ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。